

第 12 回船橋市地域リハビリテーション研究大会

平成 27 年 10 月 16 日（金）19 時 00 分より、10 月 1 日にオープンしたばかりの船橋市保健福祉センターを会場に第 12 回目となる研究大会を行いました。講師は国際医療福祉大学大学院教授 堀田聡子氏で、「地域包括ケアのまちづくり：人を、地域を、社会を変えるチームスピリット」というテーマでお話いただきました。

あいにくのお天気でしたが、約 150 名の医療・介護関係職種の方にご参加いただきました。参加者からは、「新しい視点での地域包括ケアシステムについてお話しいただき、大変勉強になった」、「本人主体のケアについて改めて考え、生かしていきたいと思った」などといったご意見をいただきました。



船橋市回復期リハビリテーション病棟連絡会について 話し合いがもたれました。

平成 27 年 9 月 1 日（火）千葉徳洲会病院 講堂にて「船橋市回復期リハビリテーション病棟（以下回復期リハ病棟）連絡会設立のための話し合い」がもたれました。

回復期リハ病棟は寝たきりの原因となる要因の上位を占める「脳卒中」、「大腿骨骨折」、肺炎等の治療時の安静等により生じる「廃用症候群」等の発症から、できるだけ早く患者を受け入れ、集中的なリハビリテーションを実施する病棟です。

船橋市内には 6 ヶ所の回復期リハ病棟を持つ医療機関があります。しかし、これまで、同病棟を持つ機関同士での会合はもたれたことがありませんでした。

当日は全 6 病院から同病棟の運営に携わる、様々な職種 50 名の方が参加され、現状と課題などについて話し合いました。

今後は、定期的な会合がもたれるとのこと。活発な意見交換を通して船橋の回復期リハ病棟の質が向上していくことが期待されます。



< 地域リハ拠点事業から～研修会の報告～ >

第6回摂食栄養サポート勉強会

平成27年9月3日（木） 船橋市立リハビリテーション病院

「“食べられない”をどこから考える？」をテーマに事例検討を行いました。67名が参加し、「船橋市地域リハ研究会」で作成したアセスメントシートを用いて、在宅生活を送る方の食に関する支援について検討しました。

ミニレクチャーでは、「何をどれくらい食べればいいのか？～これだけは押さえておいてね！」と題し、船橋市栄養士会の加藤氏より分かりやすく、栄養に関するお話をいただきました。



第36・37・38回 船橋市介護職員向け勉強会

平成27年7月28日（火）、8月25日（火）、9月29日（火）

船橋市立リハビリテーション病院

7月は「移動」、8月は「様々な場面での移動」をテーマに、9月は指導者向け研修として「移乗」をテーマに実技を主とした勉強会が行われました。毎回、定員を超えるお申し込みをいただいています。



第37回「様々な場面での移動」より



第36回「移動」より

参加者からは「座学と実技を交えていたのでわかりやすかった。良い例、悪い例を行ったことにより、介護される側と介護する側の負担を体験できてよかった」といった声をいただきました。

今後の予定

第40回 介護職員向け勉強会

「摂食嚥下」平成27年11月24日（火）18時30分～

会場：船橋市立リハビリテーション病院

第41回「グループワーク」平成27年12月22日（火）18時30分～

会場：船橋市リハビリセンター

第18回 地区勉強会（南西部）

平成27年11月20日（金）18時45分～

会場：船橋市民文化創造館「きららホール」